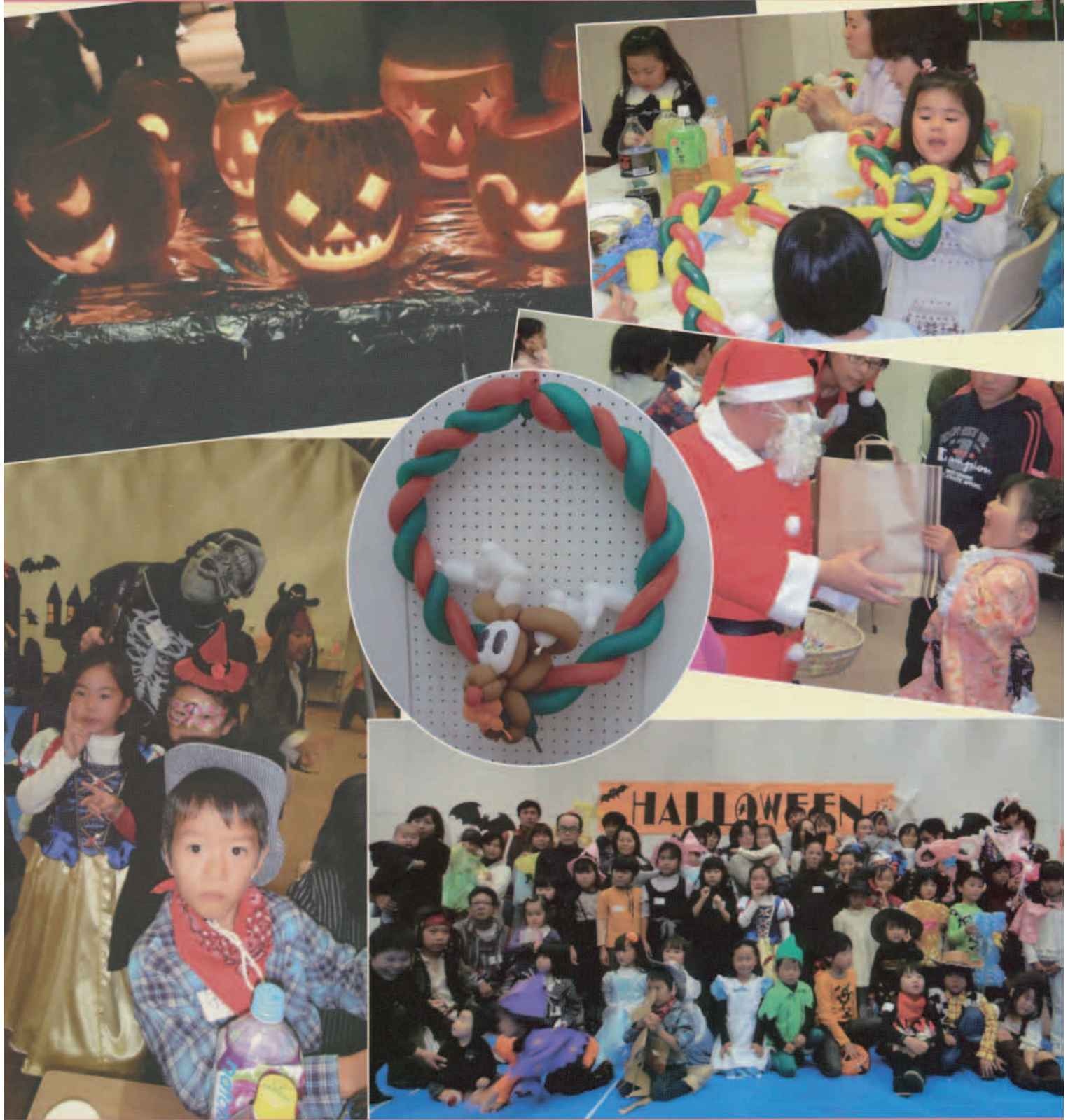


Nikko City International Association 日光市国際交流協会会報



★特集 ラピッド市公式訪問団受入事業
高校生年間留学

ラピッド市公式訪問団受入事業

日光市と姉妹都市であるアメリカ、サウスダコタ州ラピッド市とは、中高生の夏期交流や公式訪問団の相互派遣を通じ交流を続けています。今年度は、10月20日から24日の日程でラピッド市・日光姉妹都市協会のトラピス・サッターフィールド会長とジェレミー・アルトマンさんの2名が日光市を訪れました。ホストファミリー宅に滞在しながら、東照宮や輪王寺、旧江連家住宅や華厳の滝などを見学をしたり、湯元で温泉の体験をしました。21日には、協会主催による歓迎会が開催され、花柳流「亜紀の会」による美しい舞が華を添えました。また、これまでにラピッド市を訪れたことのある会員も多く集い、和やかな雰囲気の中、思い出話に花が咲きました。



高校生年間留学が実施されます

■ラピッド市から日光市へ

ラピッド市との交流の一つとして、平成18年までロータリークラブの「国際ロータリー青少年支援プログラム」により高校生の年間留学が実施されていましたが、その後は実施されていませんでした。そのような中、交換留学の再開に向けてラピッド市・日光姉妹都市協会と協議を行っていましたが、今春から両協会が主体となって交換留学を実施することになりました。まず3月末にラピッド市のセントラル高校2年生のシャーレット・セリンさんが来日し、ホームステイをしながら1年間今市高校に留学します。シャーレットさんは、平成21年度の中高生の夏期交流で日光市を訪れたことがあり、その当時に知り合った友人との再会を楽しみにしています。留学期間中は、協会のイベントにも参加して、皆さんとの交流を通じて日本の文化に浸ることを楽しみにしています。



名 前：シャーレット・セリン

年 齢：1994年生まれ 16歳

学 校 名：セントラル高校

趣 味：バイオリン演奏、スノーボードなど

将来の夢：これまでヨーロッパなどを訪問したこともあり、今回の留学経験を活かして世界を飛び回るような国際的な仕事をしたい。

■日光市からラピッド市へ

7月には、日光市から2人の高校生がラピッド市のダグラス高校へ留学することが決定しました。今市高校1年生（4月から2年生）の高橋友萌香さんと菊地真子さんです。2人とも中高生の夏期交流でラピッド市を訪問したことはありますが、今回1年間の留学にチャレンジすることになりました。7月の出発に向けて準備を始める2人にインタビューをしました。

① 年間留学に申込んだきっかけは？

高橋さん

私は昨年ラピッド市派遣事業に参加しました。そこでの経験はどれもすばらしいもので、帰国後はより英語に対する興味と必要性を強く感じました。そこで1年間英語だけの生活の中で学べる機会を活かしたいと思いました。

菊地さん

英語が好きで、自分の語学力の上達を目標に年間留学に申し込みました。また、将来は海外の人々と携わる職業に就きたいと思っているので、今のうちからそれに近い環境で勉強しようと思ったからです。

② 今の気持ちは？

高橋さん

不安よりも楽しみで一杯です。今は少しでも英語力を上げるため、単語や文法の勉強をしています。また、日本のことも、もっと勉強してラピッド市の方に伝えられるようにしたいと思います。

菊地さん

とてもわくわくしています。確かに多少の不安はありますが、楽しみな気持ちの方が大きいです。たくさんの方々との出会い、生活を共にするのがとても楽しみです。

③ 留学したらどんなことにチャレンジしたい？

高橋さん

自分から積極的にコミュニケーションをとり、何でもチャレンジしたいです。ホストファミリーと料理もしてみたいです。またスポーツや文化を通して友達の輪を広げられるようにしたいです。

菊地さん

たくさん友達をつくり、ショッピングに行きたいです。また、自然が豊かなところなので、登山やサイクリングやキャンプなどアウトドアのレジャーを楽しみたいです。

④ 家族から離れて1年間ラピッド市で暮らすことは不安？

高橋さん

不安もありますが、期待の方が大きいです。家族やたくさんの方が応援してくれているので、1年後「行かせてよかった」と言ってもらえるようにしっかり学んでいきたいと思っています。

菊地さん

家族と離れて暮らすことに対する寂しさはありません。日本語から離れて、英語だけの世界に没頭したいので何か問題がない限り不安になることはないと思います。今はラピッド市で暮らすことがとても楽しみです。

日光市国際交流協会シンボルマーク募集

平成18年4月に日光市国際交流協会として新たなスタートを切ってから早5年がたちます。この機会に協会のシンボルマークを作成します。募集要項などが決まりましたら、あらためてお知らせいたします。会員の皆様に親しまれるようなシンボルマークとなるよう、アイデアを広く募集する予定です。

イベントリポート

◆ハロウィン体験◆ 10月30日



毎年人気のイベント「ハロウィン体験」に、たくさんの子供たちが人気のキャラクターや、お気に入りの衣装を着て参加しました。「トリック・オア・トリート」と叫んでキャンディーをもらうゲームやかぼちゃポーリングをしました。協会で5月から育てたかぼちゃでランタンを作り火をともしました。どのランタンも工夫を凝らした素晴らしい出来栄でした。イベント部会のボランティアの皆さん手作りのカボチャのパウンドケーキなどを美味しくいただきました。

◆モロッコ王国大使公邸視察◆ 11月15日



東京・市ヶ谷にある駐日モロッコ王国大使公邸を訪れました。広瀬晴子前モロッコ王国特命全権大使によるモロッコの概要のお話に始まり、国民的な飲み物であるミントティーとモロッコのパンによるティータイムを体験しました。香りを楽しむため高い位置から注ぐ独特のお茶の入れ方に感嘆の声があがりました。アルール大使は公務のため不在でしたが、大使夫人からサハラ砂漠などの自然の素晴らしさ、ヨーロッパに近いこともあり、アラブ、アフリカが交じり合った独自の文化を保持してきたことなどの話をいただき、モロッコへの興味、関心が一層高まりました。

◆国際理解講演会 食から世界を考える「タンザニア編」◆ 11月28日

宇都宮大学国際学部の阪本公美子先生をお招きして、シリーズ2回目となる講演会を開催しました。



タンザニアのロゼーラというハイビスカスのお茶や、ロゼーラ入りのケーキ、スパイスの効いたミルクティーをいただきながらお話を伺いました。タンザニアの農村で実際に使われている杵と臼が展示されました。お互いを支え合う農村の生活は、少し前の日本にも見られた姿だと感じました。

◆国際交流パーティー2010◆ 12月23日

中央公民館にて国際交流パーティーを開催しました。アメリカのクリスマスのお話、クリスマスにちなんだゲーム、バルーンアートでクリスマスリースと雪だるまを家族で協力して作りました。手作りのクリスマス料理をいただき、プレゼント交換をして、楽しい一日を過ごしました。



◆ オープン初釜 ◆ 1月2日



田母沢御用邸記念公園と共催でオープン初釜を実施しました。大日光茶道学会「日光会」の協力のもと、お茶と花びら餅が振る舞われました。書き初めや福笑い、カルタ遊びなど伝統的なお正月の遊びに興じ、約200名の参加者は、新しい年のスタートを切りました。

◆『にほんご』の教え方を学ぼう!◆
1月19日、26日、2月2日、9日、16日



宇都宮共和大学の石井誠先生をお迎えし、地域に住む外国人に外国語を使わず「にほんご」を教える方法を学びました。日本語の成り立ちから始まり、模擬授業もあり、様々な国から来る外国人にどう「にほんご」を教えるかより実践的な講座となりました。

◆作って食べよう世界のごはん
～ペルー料理～◆ 2月19日



市内在住でペルー出身の古屋ミラグロスさんを講師にお迎えし、「ジャガイモのチーズソースがけ」と「ペルー風の炊き込みご飯」を作りました。初めて見るペルーのコリアンダーのペーストや黄色の唐辛子のペーストがとても珍しかったです。また、ペルーでは味の素を料理によく使うお話もありました。出来上がった料理は、風味が豊かでとても美味しかったです。

◆国際理解講演会
食から世界を考える「ペルー編」◆
2月19日



宇都宮大学国際学部のスエヨシ・アナ先生をお迎えしお話いただきました。ペルーで食べられている紫トウモロコシのプリンやジュース、国民的な飲み物であるインカコーラなどをいただきました。参加者は先生のお話熱心に耳を傾け、活発に質問をしました。

がいこくじんむ にほんごきょうしつ
外国人向け日本語教室 開催中

毎週第1・2・4木曜日の午後7時より市民活動支援センターで、ボランティアによる日本語教室を行っています。学習者は、バングラデシュ、パキスタン、中国など様々な国の出身者で毎回10名程度参加しています。レベルに合った内容をマンツーマンまたは2～3人のグループで学習しています。

にほんご べんきょう がいこく かた き くだ
日本語を勉強したい外国の方はぜひ来て下さい。
日本語を教えるボランティアの方も募集中です。

世界の国々⑧

～ペルー編～

日光市には26カ国から来た外国人の方が約700人暮らしています。そこで彼らの母国について文化や習慣等を中心にシリーズで紹介します。今回は日光市内に在住の古屋ミラグロスさんにペルーについて紹介していただきました。

◆ペルー基礎データ◆

- 国名： ペルー共和国
- 首都： リマ
- 面積： 約129万平方キロメートル（日本の約3.4倍）
- 人口： 2,850万人
- 言語： 主にスペイン語、他にケチュア語、アイマラ語
- 通貨： ヌエボ・ソル（S/.) 1ヌエボ・ソル=約30.25円



国旗



ペルー地図

セニョール・デ・ロス・ミラグロス祭り

毎年10月18日、19日、28日に行われる、「奇跡の主」の御輿がリマ市内を練り歩く盛大なお祭りです。「奇跡の主」は、キリストの磔計図が描かれた壁画です。絵の前で祈ったら悪性の腫瘍が消えた、度重なる大地震が起き教会は崩れても絵は無傷で残ったなどの数多くの奇跡が続き信仰を集めました。現在はリマ市のラス・ナサレーナス教会に安置されています。

神輿は、金銀で飾られ、高さ4.5メートル、重さ1.8トンあると言われています。日本の神輿と違ってとても重いので沢山の人が交代して担ぎます。また、お香を焚きながらゆっくりと進んでいきます。お香の煙を健康になるように、願い事が叶うようにと体にかけます。



お祭りの御輿



お祭りの時に食べる「トゥロン」というお菓子

このお祭りに参加する人達は、紫色の装束で参加します。街も紫の風船や花で飾られます。このお祭りが行われる10月は「紫の月」と呼ばれています。

私の名前は、このお祭りにちなんで付けられました。生まれた時に病弱だった私に両親が「健康になりますように、無事成長できますように」と神様に願いを込めて「ミラグロス」と名付けました。ペルーでは、「ミラグロス」という名前の女性は10月生まれが多いです。

私が日本に来て驚いたこと ～古屋ミラグロスさん～



お天気。1つめは雪。本で読んで知っていたけれど、心のどこかで「そんなことあるはずない」と疑っていました。実際に見たときは本当に驚きました。2つめは、大雨と雷を体験したことです。世界の終わりの日が来たかと思いました。ペルーは1年中暑いし雨も滅多に降りません。四季の変化があるのも不思議でした。

ペルーのお菓子レシピ

ブディン(パンのプリン)

(カラメルソース)

材料 (5人分)

食パン 4枚

牛乳 200ml

卵 3個

砂糖 1/2カップ

バニラエッセンス 少々

カラメルソースを作る

- 1) 鍋に砂糖と水を入れ、火にかけ鍋をゆするようにして混ぜる。
- 2) とろみがついてうっすらと色がつき、香ばしい香りがしてきたら火をとめる。
- 3) 追加の水を入れカラメル色になったら出来上がり。

作り方

- ①パンを適当な大きさに切り牛乳に浸して柔らかくする。
- ②ボウルに卵、砂糖を入れて混ぜバニラエッセンスを加える。
- ③全体がよく混ぜたら①を加えてさらに混ぜる。
- ④型にカラメルソースを入れて、③を入れて180℃に予熱したオーブンで50分程度焼く。竹串を入れて何も付いてこなければ出来上がり。



～募集～

◆ホストファミリー募集

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。

◆国際理解のための学校支援派遣講師

日光市では子ども達に国際理解の大切さを学んでもらうため、市内の小中学校に異文化を紹介していただく外国人講師を派遣しています。外国籍の方で自国の文化（歴史、料理、音楽、舞踊等）を紹介していただける方を募集しています。お知り合いの外国人の方にもお知らせください。

◆ホストファミリー募集

市で発行する資料等の各種言語への翻訳や、海外からの来訪者の通訳などにご協力いただける方を募集しています。資格等は必要なく英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語等言語も問いません。

◆日本語教室ボランティア

毎月第1・2・4木曜日 日光市民活動支援センターにて在住外国人向けの日本語教室を行っています。ボランティアで日本語を教えていただける方を募集しています。

興味がある方、登録を希望される方は事務局までご連絡下さい。

～お知らせ～

◆会費納入について

まだ会費を納入されていない方は至急納入して下さい。

◆E-mailでの情報提供

経費節減のためE-mailで通知やイベント情報をお送りしています。ご希望の方は事務局にご連絡ください。（容量の関係で携帯アドレスはご遠慮ください）

～これからのイベント予定～

5月下旬 平成23年度総会

7月下旬～8月上旬 日光市、ラピッド市中高生夏期交流

*会員の方には随時お知らせいたしますのでぜひご参加ください。

協会データ

個人会員 336 名

家族会員 36 家族

法人会員 61 社

外国人登録者数

701 名

平成23年3月1日現在

「ホームページリニューアルのお知らせ」

「協会ホームページをリニューアルすることになりました！新ホームページが完成するまで少しの期間（3月中旬～4月中旬まで）利用が出来なくなりますのでご了承ください。

お問合せ 日光市国際交流協会事務局（日光市観光部観光交流課内）

〒321-1292 日光市今市本町1番地 TEL 0288-21-5196 FAX 0288-21-5121

E-mail kankou-kouryuu@city.nikko.lg.jp